

小学校におけるICTを活用した 新たな避難訓練方式の実証的検証

工学研究科
寺田 努, 大西 鮎美



事業目的

神戸市灘区に4月新設の神戸市立灘の浜小学校と連携し、情報技術を活用した新たな避難訓練方法の確立を目指して実証的な実験を行う。

避難訓練の 課題

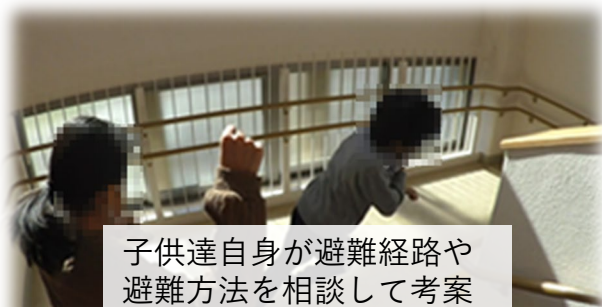
1. 自分で考えることなく指定された経路を先生に続いて歩くだけの避難訓練
2. 安全に行動できたかどうかなどが定量的に確認できないことによる振り返りできなさ

実践内容

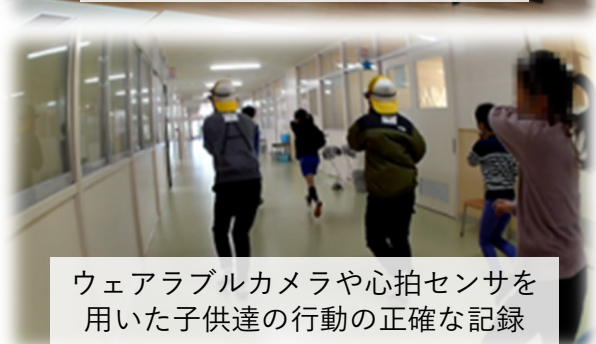
これまでにない効果的かつ実践的な避難訓練を行う枠組みを提案し、それが子供達の防災意識にどう働くかを検証する。



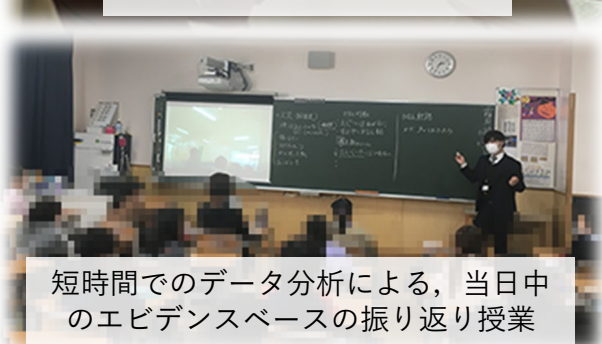
突発的な避難訓練開始



子供達自身が避難経路や避難方法を相談して考案



ウェアラブルカメラや心拍センサを用いた子供達の行動の正確な記録



短時間でのデータ分析による、当日中のエビデンススペースの振り返り授業

児童らの 意見

「うまく避難できたと思っていたけど実際記録を見てみたらできていなかった」

「焦ると頭で考えていた行動ができていなかった」

事業の効果

本実践では、実証実験を通し、避難経路の決定から避難の仕方まで子供達の判断で行わせる新たな授業モデルを示した。

このような取組みをさがかけて行い、その成果を国内外に広めることで今後起こりうる災害に対して高い意識をもつ子供達を育成する仕組みを確立することは極めて重要であり、その取組みを神戸で先導して行ったことには価値がある。